

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和6年度第5回上尾市子ども・子育て会議

- 2 会議日時 令和7年1月31日(金)
午後1時30分から午後2時30分

- 3 開催場所 上尾市役所 議会棟4階 全員協議会室

- 4 会議の議題
 - (1) 上尾市こども計画(案)について
 - (2) 答申について
 - (3) 特定教育・保育施設 利用定員の設定及び変更について

- 5 報告事項
 - (1) その他

- 6 傍聴者数 1名

- 7 問い合わせ先 上尾市子ども未来部子ども支援課
(担当課)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第5回上尾市子ども・子育て会議	
開 催 日 時	令和7年1月31日(金) 午後1時30分から午後2時30分	
開 催 場 所	上尾市役所 議会棟4階 全員協議会室	
議長(委員長・会長)	田澤 薫	
出席者(委員)	浦和三郎、轟 信一、小谷野史香、長野由莉、藤本貴子、浅子 工、吉田雄二、糟谷珠紀、桑原明子、本田直子、鈴木玲子、若原幸範、橋本洋子、和井田節子、猪野塚 将、松澤 歩	
欠席者(委員)	黒須文和、稲田英明、石井啓雅	
事務局(庶務担当)	<p>【子ども未来部】 部長 野崎孝幸、次長 松木ヒロシ</p> <p>【子ども支援課】 課長 島田真樹、主幹 山田暁子、主査 高木雅也 主任 金子阿佐美、小島一樹、主事 北條菜月</p> <p>【保育課】 課長 佐藤 仁、主幹 中村 操</p> <p>【青少年課】 課長 小川博史、主幹 松崎まり子</p> <p>【子ども家庭総合支援センター】 所長 小林仁子、主査 東海林智之</p> <p>【子育て支援センター】 所長 米田智子</p> <p>【発達支援相談センター】 所長 持田ゆりえ</p> <p>【健康福祉部健康増進課】 主幹 半田敦子</p> <p>【学校教育部指導課】 副主幹兼指導主事 大平 篤</p>	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	① 上尾市こども計画(案)について	① 承認
	② 答申について	② 承認
	③ 特定教育・保育施設 利用定員の設定及び変更について	③ 承認
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 1名

会 議 資 料	資料 1	上尾市子ども計画（案）に係る市民コメント結果
	資料 2	上尾市子ども計画（案）への子どもからの意見結果
	資料 3	上尾市子ども計画（令和7年度～令和11年度）
	資料 4	上尾市子ども計画 子ども向け概要版
	資料 5	特定教育・保育施設 利用定員の設定について

議事の内容と末・概要に相違なきことを証するため、ここに署名する。

2025年2月25日

議長(委員長・会長)の署名

田澤 薫

議長に代わる者の署名
(議長が欠けたときのみ)

議事の経過

発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>令和6年度第5回上尾市子ども・子育て会議次第</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 議題</p> <p style="padding-left: 40px;">① 上尾市こども計画(案)について(資料1-資料4)</p> <p style="padding-left: 80px;">-----事務局より説明-----</p>
会長	<p>ただいまの説明についてご意見やご質問がございましたら、お願いします。</p>
桑原委員	<p>資料1のP13「小学校の体育の授業の時、男女一緒に着替えるのは嫌なので別の部屋を作ってください。」との意見に対して「大規模校の場合、普通教室以外の教室が少なく、更衣する場所を設定することが難しい場合もありますが、可能な限り取り組んでいきます。」との回答では不誠実ではないか。意見をしたこどもが回答を受け取った時、どう思うかという視点を持ってほしい。現に「意見をして上尾市は何も変わらない」との声もある。大人はこの回答で事情を理解できるが、こどもに対しては言い方をより丁寧にするべきではないか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。検討させていただきます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。独断ですが、松澤委員もし何かご助言を頂ければお願いします。</p>
松澤委員	<p>高学年からは男女別で着替えている小学校がほとんどだが、意見者は3年生と思われるため、ちょうど学校によって一緒に着替えている場合もある学年。教室の確保について、学校によって大きく差がある。そのため必ずしも教室を確保できないというのは事実だが、例えばカーテンで仕切ることなど、更衣室の設置以外の可能な対応を書くだけでもこどもは安心するのではないか。</p>
本田委員	<p>男女の着替えの件について、保育園でも既に男女分けて着替えている。</p> <p>「見せない」「見ない」ということを、工夫をしながら伝えており、小学校に入ったら男女分けて着替えるということではなく、物心ついた頃</p>

	<p>からそれが当たり前だと思えるように取り組んでいる。そのため、「工夫をする」という表現を使ってみてはどうか。</p>
会長	<p>ありがとうございます。事務局、よろしくお願いします。</p>
長野委員	<p>男女の着替えの件について、場所がなければ女子は朝から体育着での登校を許可することや、男女で着替えの時間を変えるなどやり方は様々あるため、柔軟に対応してほしい。</p>
会長	<p>ありがとうございます。やはり工夫をするということは、子どもたちに約束したいですね。桑原委員に大切なことを教わったように思います。子どもたちへの回答については、読んだ子どもがどんな気持ちになるかという点も確認する責任が私たちにはあるかと思えます。</p>
小谷野委員	<p>資料1のP3『幼稚園・保育所』では、英語体験に関する支援について保育園には補助金が出るのに対し、幼稚園にはないため、平等に英語体験ができる支援を考えてほしいとの意見がある。これに対する回答があまりにも簡素だと感じる。施策の管轄が上尾市ではなく埼玉県であるため、具体的な対応を提示できないにしても「県と密に連携をとっていく」などの書き方をしたほうが、市民の理解も得やすいのではないだろうか。</p>
会長	<p>こちらも検討をお願いします。施策の内容について、市民目線からは市か県かあるいは国の管轄かを見分けることは難しいため、市が何もやってくれていないと捉えられてしまう可能性もあります。お互いのためにも、よろしくお願いします。</p>
轟委員	<p>資料2の子どもたちの意見に対する回答が冷たいように思える。特に、小児科の予約がとれず「ドラッグストアの薬を飲んでがまんすることが多い」や、「インフルエンザや新型コロナのワクチンはお金がかかる」などの意見に対する回答は適切ではないと思う。</p>
事務局	<p>お伝えしなくてはいけない事項について言葉が硬いものもあると思います。できる限りやわらかい表現にしたつもりでしたが、まだまだ足りないということでしょうか。</p>
轟委員	<p>資料2について、子どもたちが見る機会はあるのか。</p>
事務局	<p>見ていただけます。</p>
轟委員	<p>子どもたちが見るのであれば、使う言葉や言い回しがもう少し改良できたらよかったと思う。</p>
事務局	<p>今後このような機会がありましたら、ご意見を参考に、より子どもに寄り添った言葉選びをさせていただきます。</p>

浦和委員	<p>資料2、P2の8歳のこどもからの意見で「意見をしても上尾市は何も変わらないし子育て支援や物価高騰の助けがない。議員や市長など給料をもらい過ぎでは？」とあるが、認識が間違っている部分もあると思う。しかし、回答として「いただいたご意見を参考として、より良い上尾市となっていくように取り組んでいきます。」とあり、内容を肯定しているように捉えられるのではないかという懸念を抱いた。誤った認識に対して「参考にする」という回答は不適切に思えるが、別の言い方に変更できないだろうか。</p>
事務局	<p>頂いた意見に対して否定をすることは避けたいので、ご意見を参考にするという回答に留めたいと思います。苦情やご不満も含めて、市への意見として伺いたいと考えています。</p>
浦和委員	<p>建設的な意見に対しては「参考にする」という回答で問題ない。この意見に関しては、別の回答ができないか再考してほしい。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
会長	<p>資料2の『上尾市こども計画（案）へのこどもからの意見結果』の書き方について様々な意見が出ましたが、「対応」と「回答」を分けて考えてみてはいかかでしょうか。資料1のP12では、18歳以下の意見に対して市政の情報提供などを「対応」として記載しており、資料2でも同様に市としての「対応」を記載するべきだと思います。一方で、こどもたちは「対応」の記載ではなく「回答」を期待しています。そこで、冒頭で感謝の気持ち等を込めた「回答」をするのはどうでしょうか。意見をしてくれたこどもたちの気持ちを守るためにも、あとひと工夫していただきたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>資料3のP82「こどもが健全に成長していくためには、体とともに一人ひとりの心を育てていくことが重要です。」この一文を入れていただいたことにより、抜け落ちがちな観点が補われていて良いと思う。</p> <p>こどもの居場所について、人権教育の観点から見ても学校は重要なこどもの居場所なので、より良い場所が変わってほしい。中学生ぐらいになると友達との衝突を避け、自分にとって安全で狭い範囲だけで活動をするようになるこどもが多いと感じる。小さいころから自分の意見を伝えるということに取り組むことで、世の中には自分と違った様々な意見があるということを理解し、より広い範囲で居場所を作れるようになると思う。</p>
会長	<p>ご意見として承ります。</p>
長野委員	<p>資料1、P3ではこどもたちの運動の機会について意見が記載されているが、個人的にもこどもの運動機会の減少に懸念を抱いている。例えば「ボール遊びはやめましょう」との掲示がある公園をよく見かけるが、禁止を伝えるだけではなく、他にボール遊びができる公園の情報を提示するなど工夫をすることで、日常的に運動機会を増やすことができるの</p>

	<p>ではないか。また、最近では小学校の休み時間に球技をすることが禁止されており、公園でも学校でも気軽にボール遊びができない。市として運動機会の提供に取り組むのであれば、教員が同席すれば休み時間の球技も可能にするなど、学校での規制緩和を検討してほしい。</p>
会長	<p>ご意見として承ります。議題に関するご意見はありますでしょうか。</p>
松澤委員	<p>資料2『上尾市こども計画（案）へのこどもからの意見結果』について、学校でも貴重な機会としてパブリックコメントの周知をしてきた。こどもにとっては大きな場で自分の意見を伝えることができ、回答を得られるという初めての体験であることから、回答にはその気持ちを受け止めたとわかる言葉を入れてほしい。それにより、こどもたちは今後も市の取り組みに参画したいという気持ちが高まるのではないかと。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今の松澤委員からのご意見からも分かりますが、こどもたちは「回答」を待っていると思いますので、その点の配慮をぜひお願いしたいと思います。</p> <p>それではただいまの議題を承認するという事でよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>承認</p> <p>② 答申について</p>
会長	<p>審議の結果について、適切であるということで答申したいと考えますがいかがでしょうか。</p>
委員一同	<p>承認</p>
事務局	<p>答申につきましては、令和7年2月4日午後4時30分から田澤会長、稲田副会長より提出していただく予定です。</p>
会長	<p>なお、『上尾市こども計画（案）へのこどもからの意見結果』に対する修正案に関しましては、事務局と調整のうえ進めてまいりますので、会長の私と、副会長にご一任いただくようお願いいたします。</p> <p>③ 特定教育・保育施設 利用定員の設定について</p> <p>-----事務局より説明-----</p>
会長	<p>ただいま頂いた報告を承認するという事でよろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>承認</p> <p>(4) 報告事項</p>

事務局

① その他

- ・上尾市行政組織の改正、上尾市こども保健センターの制定について

-----事務局より説明-----

- ・令和7年度第1回上尾市子ども・子育て会議は7月に実施予定

(5) 会長あいさつ

(6) 閉会

以上